

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

9 September

11日 地域医療人育成センターおokayama (MUSCARTUBE) を鹿田地区に開所



12日 中国科学院昆明植物研究所の副所長らが森田学長を表敬訪問

19~23日 縄文時代の暮らしを探るキャンパス発掘成果展を創立五十周年記念館で開催

20日 定例記者発表を開催

20日 教育改善について教職員・学生が討議する全学教員研修「桃太郎フォーラム」を実施

21日 「岡山大学・フエ大学院特別コース」第6期入学式をベトナム・フエ大学で挙



20日 平成24年度秋季岡山大学学位記授与式を挙

28日 華東政法大学副学長らが表敬訪問

10 October

1日 大学院医歯薬学総合研究科と国立感染症研究所が連携大学院を設置

1日 大学院医歯薬学総合研究科と国立長寿医療研究センターが連携大学院を設置

10

9日 平成24年度岡山大学大学院秋季入学式を挙



13日 臓器移植対策の推進に功績があったとして、横野病院院長に厚生労働大臣感謝状が贈呈される



13日 医学部・歯学部が献体された方々に慰霊する解剖体慰霊祭を挙

18日 ミャンマー保健省との交流協定締結10周年を記念して、同省の医師2人が学長表敬訪問

19日 セネガルの教育関係者が本学で授業研究を学ぶ研修を開始

20日 ホームカミングデイ2012を開催

22~23日 国際シンポジウム「光合成システムの構造とダイナミクス」を開催

23日 米国のピッツバーグ大学、チャタム大学と大学間協定を締結



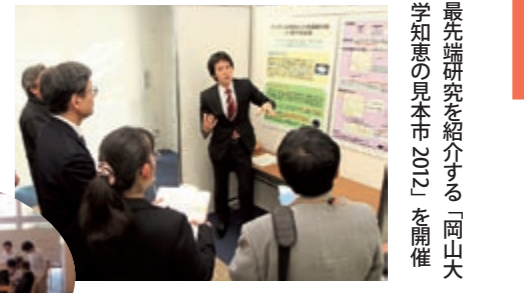
24日 学会等が制定する賞を受賞した学生を顕彰する「学会賞等受賞者表彰式」を挙

25日 定例記者発表を開催

30日 アメリカの科学誌「Science」のエディターが講演

11

2日 最先端研究を紹介する「岡山大学知恵の見本市2012」を開催



3~5日 岡山大学祭(鹿田祭)を鹿田地区で開催

6日 第1回岡山大学国際学都シンポジウムを開催

10~11日 第36回収穫祭・農学部フェアを開催

10~25日 池田家文庫絵図展「日本六十余州図の世界」(附属図書館など主催)を岡山シテイミュージアムで開催

12日 岡山大学病院で国内の医療機関初となる100例目の肺移植に成功

14日 独立行政法人医薬品医療機器総合機構と連携大学院協定を締結



23~25日 岡山大学祭(津島祭)を津島地区で開催



28日 前文部科学事務次官の清水潔氏が来学

29日 定例記者発表を開催

12 December

1日 法務研究科に、岡山大学法科大学院弁護士研修センターを設置

研究・臨床成果

■大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授の研究グループは、水素水の摂取に歯周病を予防する効果があることを動物実験で、世界で初めて証明した。本研究の成果は、水素水の摂取などで全身の抗酸化力を高めることも歯周病の予防に効果的であることを示唆している。ヨーロッパの歯周病専門雑誌 Journal of Clinical Periodontology に掲載。(9月・定例記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の松本卓也教授らの研究グループは、実験室で細胞の塊から骨様組織を作製することに成功した。この骨様組織は骨再生に向けた新しい移植材、あるいは骨ができる過程を検討するための研究ツールとして有望。イギリス王立化学会発行科学誌 Integrative Biology オンライン版に掲載。(9月・定例記者発表)

■大学院自然科学研究科の工藤一貴助教、野原実教授らの研究グループは、ニッケルの化合物に少量のリンを混ぜると結晶が柔らかくなり、電気抵抗がゼロになる超電導へ移行する温度が5倍以上に上昇することを突き止めた。送電線などへの応用が期待できる高温超電導材料の開発に進展が望める。米物理学会速報誌 Physical Review Letters オンライン版に掲載。(9月・定例記者発表)

■資源植物科学研究所の佐藤和広教授らの研究グループが参加した国際コンソーシアムは、オオムギの51億個の塩基からなるゲノム塩基配列の詳細な解読に成功した。本成果により、オオムギのゲノム情報を利用した育種が可能になり、病害抵抗性や多収性等を目標とした品種改良の加速化が期待される。英国科学雑誌 Nature に掲載。(10月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の宮地弘幸教授らの研究グループは、苔類に分布する環状ヒスビベンジル誘導体の中に、抗MRSA薬として汎用されているリネゾリド並みに強力な抗菌活性を示す化学物質としてのリカルティンCを見いだした。Bioorganic And Medicinal Chemistry Letters に掲載。(11月・定例記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の古田和幸教授らは、樹状細胞の抗原提示能が活性化T細胞によって抑制されることを見だし、そのメカニズムを解明した。自己免疫疾患などの治療法開発への新たな手がかりとなることが期待される。米科学アカデミー紀要オンライン版に掲載。(11月・定例記者発表)

■岡山大学病院産婦人科(平松祐司教授)では、婦人科悪性腫瘍に対するロボット手術を開始した。子宮体癌、子宮頸癌を中心に実施していく予定。本手術は、従来の腹腔鏡でできない操作ができるため、出血量の減少、患者の術後QOL改善に繋がることが期待される。(11月・定例記者発表)

■資源植物科学研究所の長岐清孝准教授と村田稔教授らの研究グループは、動物体タンパク質を可視化することにより、タマネギの細胞分裂を詳細に描写することを可能とした。科学誌 PLOS ONE に掲載。(12月・臨時記者発表)